



三島小理科レポート

2014年度 No, 234
四国中央市立三島小学校
田中正史

592 4年 Aさん・Bさん「じゅみょう」11月10日☆自主レポ

教室で遊んでいました。虫の死がいを見つけました。

A「これって、じゅみょうで死んでしもたのかな？」

B「おそらく、そうですね。だって、この虫、キズ一つも入ってないよ。」

A「なるほど。」

B「虫にじゅみょうがあったよね。生き物、全部だけど。」

A「調べるか！」

B「調べよ！じゅみょうについて。」

さっそく調べました。

カゲロウ6時間、ミツバチ5週間、ネズミ2年、カンガルー10年、ゾウ40年、ワニ75年、アイスランドガイ400年。シエラレオネ共和国の人47年。1947年の日本人52年。今の日本人83年。

B「おお！すごい。」

A「こういうの見たら悲しくなるね。」

B「うん。」

これから一生けんめい生きようと思いました。

★ Aさんが「先生、ノート破って書いてしまったのですが」と申し訳なさそうにレポートをもってきました。「ノートを破ってはいけない」と指導しているからね。レポートを読み直して、そうしてでも早くレポートを出したかった気持ちが伝わってきました。

Aさんの「悲しくなるね。」と「一生けんめい生きようと思った。」の理由を考えましょう。

みなさんの意見を集めたいと思います。

★ カゲロウの6時間は成虫になってからの寿命。1945年に戦争が終わりました。1947年の「日本人の寿命52年」は、戦後の大変さを示しています。シエラレオネ共和国の位置は下の図で示します。



D ぼくは、死ぬのは悪くなくて寿命が6時間だろうが5週間だろうが、精いっぱい生きれば、それでいいと思います。ゴキブリも悪いことをしに出てきてるんじゃないのに、殺すのは少し悲しいです。蚊も命がけで血をすっているんだと思いました。だから、ぼくは蚊をたたきません。死のことを書いたこのレポートは、すごくいいと思います。53年しか日本人は生きられなかったけど、今は83年というのは、「思いやり」につながると思いました。だって戦争がなくなったのは「思いやり」だからです。(4年生男子)